

▼ルブブラック錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】トラスセミド (U) torasemide (torsemide) 【分類】ループ利尿剤

【単位】▼4mg・▼8mg/錠

【常用量】4～8mg/日

【用法】1日1回

【透析患者への投与方法】無尿の患者には禁忌 (1)

【その他の報告】おそらく減量の必要なし (12)

【保存期CKD患者への投与方法】おそらく減量の必要なし (12)

【特徴】フロセミドより強力な作用を有するループ利尿薬。抗アルドステロン作用を併せ持つので低カリウム血症発症リスクが軽減されているという。

【主な副作用】頭痛、倦怠感、口渇、めまい、血清K低下、血清尿酸上昇、肝障害、腎障害など

【吸収】食事の影響を受けず、速やかに吸収される (U)

【F】80% (U)

【tmax】1hr (1) 1～2hr (U)

【代謝】CYPにより5つの代謝物に変換される。マイナーなM1は未変化体の1/10、M3は未変化体と同等の活性を有するが、主代謝物のM5の活性はない(U) CYP2C9多型によりPK、PDは影響される (Viktor S, et al: Clin Pharmacol Ther 76: 557-66, 2004)

【排泄】尿中回収率50～80% [24hr まで] (1) 尿中未変化体排泄率20～30% [24hr まで] (1) 24% (U) OATP1B1の基質であり、男性よりも女性でAUCが30～40%高くなることと女性で副作用が多いことが関連している可能性がある (Werner U, et al: J Clin Pharmacol 50:160-8, 2010)

【t1/2】2hr (1)

【蛋白結合率】97～99% (U)

【Vd】0.14～0.19L/kg (U)

【MW】348.43

【透析性】除去されない (U) 蛋白結合率が高いため除去されないと思われる (5)

【薬物動態】OATP1B1の多型、CYP2C9*3アレルはCLと関連する (Vormfelde SV, et al: Clin Pharmacol Ther 83: 815-7, 2008 [letter])

【更新日】20151203

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。